



「うちの子に限って」・・・が危険

～夏休みに考えたい 子どもを取り巻くネット社会～

犯罪は音を立てずに忍び寄る

先日「子供たちを地域で守る」というテーマの講習会に参加し、これは夏休み前に保護者さん達に伝えなければ！と感じたので今回まとめさせて頂きました。

まず最初に話されたのは右京区警察署、少年補導委員の方で、その方がおっしゃったある言葉が、一番印象的でした。

「犯罪グループは、悪い子を探しているではありません。社会経験が少なく、利用しやすい子どもを探しているのです。」

この言葉を聞いた瞬間、「決して他人事ではない」と感じました。

夏休みは学校がお休みになり、子どもたちが一人で過ごす時間が増える季節です。同時に、スマートフォンやタブレット、ゲーム機に触れる時間も長くなります。

だからこそ今、ご家庭でぜひ考えていただきたいテーマがあります。それが「子どもを取り巻くネッ

ト社会」です。

警察庁の統計によると、少年による刑法犯は長期的には減少していますが、近年は再び増加傾向が見られています。特に近年問題となっているのが、SNSを利用した闇バイトや特殊詐欺、薬物犯罪などへの関与です。

昔のように「夜遊びをしなければ安心」という時代ではなく、今では自宅の子ども部屋からでも、スマホ一台で犯罪グループとつながってしまう時代なのです。

「高収入」「即日払い」「簡単なお仕事」など、一見魅力的な言葉で誘い込みます。しかし、その実態は特殊詐欺や強盗、薬物の運搬役など犯罪そのものです。

一度でも関わってしまうと、個人情報握られ、「家族に危害を加える」「住所は分かっている」などと脅され、抜け出せなくなるケースも少なくありません。

研修では、「最初は見張り役だ

けだと思っていた」「荷物を運ぶだけだと思っていた」という少年も少なくないとのことでした。

しかし、法律はそんなに甘くありません。

例えば、強盗によって人を死亡させた場合、刑法第240条では**死刑**又は**無期拘禁刑**という極めて重い刑罰が定められています。

「自分は見張り役だから。」
「言われたことをしただけだから。」

こうした言い訳は通用しません。実行役ではなく見張り役としても同じ重さの罪に問われるのです。

警察の方が何度も強調されていたことがあります。

それは、「少しでも危険を感じたら、一人で抱え込まず、すぐに警察へ相談してください」ということでした。

「警察に相談したら怒られるのではないか。」「相談したことが相手に知られてしまうのではないか。」そ

んな不安から相談できない人も多いのですが、現在は保護制度も整えられており、早めの相談が何より大切だというお話でした。

若者のA I 利用事情

研修では、社会教育士として学校や地域で子どもたちの支援活動をされているK A E L代表・北田先生のお話も伺いました。

先生のお話の中で特に印象的だったのが、最近の若者の生成A I との付き合い方です。

最近では、小中高生の間でも生成A I を利用する子どもが急速に増えています。

分からない問題を調べたり、文章を書いてもらったり、相談相手として利用したりと、その使い方は年々広がっています。(学生の1/3はA I で夏休みの宿題を解いている・・・という調査結果もあるそうです)

生成A I はとても便利です。

しかし便利だからこそ、学生が使用する際には注意しなければなりません。

A I の特徴とは？

生成A I の大きな特徴として、

① **基本的に相手の話を否定せず、共感しながら答える**

② **365日24時間対応してくれる**

という点が挙げられます。そのため、「自分を分かってくれる存

在」と感じる子どもも少なくありません。

もちろん、それ自体が悪いことではありません。

しかし、人との関わりでは、自分の思い通りにならないことや、時には意見がぶつかることもあります。

北田先生が懸念されていたのは

『365日24時間体制で何事にも共感してもらえるA I との付き合いに慣れすぎると、「裏切り」「待つこと」の無い関係に慣れてしまい、現実の人間関係に煩わしさを覚え、人間関係を築いていく練習機会を奪われてしまうこと』

だと仰っていました。

これは私自身も最近感じていたことで、大いに危惧していたことでもあります。

情報を選んでもつもりで 情報を選ばされている

さらに、インターネットには「フィルターバブル」や「エコーチェンバー」と呼ばれる現象があります。

簡単に説明すると「自分が興味を持った情報ばかりが表示され、同じ考え方や情報ばかりに囲まれてしまう現象」のことです。

自分では幅広く情報を集めているつもりでも、実際には自分が興味を持ちそうなA I の用意した似たような情報しか見ていないということが起こっているのです。

A I は危険なのか？

さて、ここまで読むと、「ネットやA I は危険だから使わせない方がいい」と思われるかもしれません。

しかし、私はそうは思いません。

今やスマートフォンやインターネットは、子どもたちにとって学習にも生活にも欠かせない存在です。(大人にとっても仕事で欠かせなくなっていますよね。)

大切なのは、「使わせないこと」ではなく、「**正しく使う力**」を育てることではないでしょうか。

夏休みは、子どもたちにとって楽しい思い出を作る大切な時間です。

一方で、スマホやSNSに触れる時間が増え、普段以上にトラブルへ巻き込まれる可能性も高くなります。

ぜひこの機会に、ご家庭でスマホやSNS、生成A I との付き合い方について話し合う時間を作ってみてください。

子どもを守るために最も大切なのは、スマホを取り上げることで、最新の見守りアプリを入れることでもありません。

「困ったことがあったら、お父さん、お母さんに相談しよう。」

子どもがそう思える親子関係を、日頃から築いておくことです。

どれだけ時代が変わっても、最後に子どもを守ることができるのは、やはり家族なのだと思います。